

■名称(所在地) 日本民家集落博物館

(大阪府豊中市服部緑地1-2 大阪府営服部緑地内)

■設立年月日 昭和33年6月19日

■面積 35,570㎡

■管理運営 (公財)大阪府文化財センター(※大阪府指定出資法人)

■日本民家集落博物館 ホームページ <https://www.minshuhaku.jp/>

■概要

- ・日本各地の代表的な民家を移築復元し、関連民具と合わせて展示する野外博物館。服部緑地に所在。
- ・多くの樹木や草花に囲まれた広大な敷地内には、北は岩手県から南は鹿児島県まで、地方固有の風土・習慣から生まれた特色を色濃く残した12棟の民家を集める。
- ・いずれの民家も17～19世紀(江戸時代)に建築されたもので、国や大阪府によって指定・登録された文化財となっている。
- ・博物館では、民家等の展示解説のほか、昔の遊びや暮らし体験のワークショップも行われており、日本各地の「むかし」の風情や暮らしぶり、歴史を体感できる施設として親しまれている。

■入館料

※幼稚園・保育園などの団体料金です。

	大人	高校生	小・中学生	幼児
個人	800円	300円	200円	無料
団体(20名以上)	600円	200円	150円	100円 ※
障がい者	300円	100円	100円	無料
ミュージアムカード	2,500円	1,000円		—

■入館者数の推移(コロナ前～コロナ後)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	37,351	33,427	30,453	20,370	17,634	26,110	25,204	26,912	29,046
外国人	2,885	2,751	2,603	331	296	888	2,625	3,848	4,446
外国人の割合(%)	7.7	8.2	8.5	1.6	1.7	3.4	10.4	14.3	15.3

■インバウンド入館者の主な内訳

アメリカ、イギリス、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、シンガポール、スイス、スペイン、タイ、台湾、中国、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、フランス、ベトナム、香港、ポーランド、マレーシア 他

既存の誘導サインの設置箇所(博物館外)



誘導サインの種類

- ①円形花壇の西(▲)
- ②東中央広場から円形花壇へ向かう通路(▲)
- ③ユースホテル跡地の西横(▲)
- ④円形花壇の南東(■)
- ⑤円形花壇の南(■)
- ⑥東中央広場から円形花壇へ向かう通路(■)
- ⑦東中央広場入口(■)

(▲) ①～③



(■) ④～⑦



※本資料は既存サインの状況を示すものであり、新たに提案を求める設置数、設置箇所を示すものではありません。

既存の案内サインの設置箇所(博物館外)



案内サインの種類

- ①緑地公園駅西口付近(★)
- ②西中央広場入口(★)

(★) ①



(★) ②



既存の誘導サインの設置箇所(博物館内)



誘導サインAタイプの設置状況
(赤丸)



誘導サイン (Aタイプ)
※板面は1～3枚のものがある。



誘導サイン (Bタイプ)



誘導サイン (Cタイプ)

※本資料は既存サインの状況を示すものであり、新たに提案を求める設置数、設置箇所を示すものではありません。

博物館内には、現在、案内サインは設置されておりません。